

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------------|-----|----------------|
| ○事業所名 | こどもサポート教室「きらり」長野駅前校 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 6年 11月 1日 | | ～ 令和 7年 1月 10日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 13名 | (回答者数) 13名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 6年 11月 1日 | | ～ 令和 7年 1月 10日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 7年 1月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 個別での対応が多いことから、丁寧でより深いアセスメントができることが強みです。 | ・アセスメントは、児発管が実際のお子さんの姿から行う中で、お母様からの聞き取りや、支援の中で深い関わりを持っている支援担当者、お子さん自身からも聞き取りを行う事で、精度の高いアセスメントとなるよう取り組んでおります。・個別支援での姿や、小集団の中での姿を合わせて作っております。・個別療育のみのお子さん場合は、保育園さんや幼稚園さんと連携して園訪問を行って、様子を拝見することで集団の中での姿を確認するようにしております。 | これまで、幼稚園、保育園への訪問も取り入れて、お子さんの姿を拝見してきました。今後はさらに、「お子さんの姿の共有」という所で、互いの育ちの情報共有を行っていただけるよう取り組んでまいります。 |
| 2 | 安定した小集団療育から、大きな集団への移行が行いやすいところが強みです。 | ・不安が高いお子さんには、まずは少人数でのグループ分けを行い、その時々で、お子さんに合わせた声掛けや配慮を行うようにしています。少人数での活動で、自信をつけ、人数の多いグループへの活動に繋がるようサポートしております。 | 小集団に入ることに抵抗があるお子さんには、個別のブースから、小集団の様子を見学する機会を持つなど、参加してみたいという気持ちを引き出していただけるよう取り組んでまいります。 |
| 3 | 支援を受けるお子さんにとって刺激の少ない環境を用意し、お子さんに合わせて視覚的なサポートも行っていることが強みです。 | ・支援で使用するスペースは、壁面や装飾のない壁やパーテーションを用いて、刺激のコントロールを行い、個別療育の時には、支援ブースを区切ることでより集中しやすい環境を整えています。・お子さんに応じて支援スペースの大きさや机の配置等を変更しております。 | お子さんに応じて安心し集中して活動に取り組めるよう環境を整えてまいりました。今後も一人ひとりのお子さんに応じて、音や光、刺激物等の目や耳からの刺激が調整するなど、工夫して取り組んでまいります。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域の方々が活動に参加する機会の提供 | 主に個別支援を提供しているため、地域資源との関わりや繋がりへのニーズが希薄でした。 | 「きらり」利用中のお子さんの保育園・幼稚園への訪問は行ってきているので、関係のある機関との交流を行えるよう取り組んでまいります。また、地域に開かれた事業所でもあるよう、地域の方々との交流を準備してまいります。 |
| 2 | ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等も参加できる研修会等の提供 | 今年度、保護者様向けペアレントトレーニングを計4回開催しましたが、周知が遅れた事もあり参加者が限られた方になってしまった事が反省点です。 | 今後は、事前周知を3か月前位に行い、保護者様が予定を立てやすいよう取り組んでまいります。年間で6回開催を目指してまいります。 |
| 3 | 教室の環境整備 | お子さんの特性や活動内容に応じて机の配置を変えたり、仕切りを利用して空間を調整したりすることで、少しでも広く利用者様が安心して活動に取り組める環境作りが必要です。 | お子さんの特性や活動内容に応じて机の配置を変えたり、仕切りを利用して空間を調整したりすることで、少しでも広く利用者様が安心して活動に取り組める環境作りに努めてまいります。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 どもサポート教室「きらり」長野駅前校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 13名

回収数 13名

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|-----|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 11 | 2 | 0 | 0 | ・体を動かす活動をするためには少し狭いのではないかと感じます(1名)。 ・もう少し広い空間で別れているとよいなあと思います(1名)。それぞれの特性に応じるにはスペースに限りがあるのでではないかと感じる。けれどワンフロアなので空間を把握しやすく、うちの子どもの特性には合っていたと思います(1名)。 | ご意見をいただき、ありがとうございます。活動空間についてご意見をいただいた事を、上長へ伝えました。今できる事としては、集団療育や、運動活動に取り組む時に、スペースをいかに広く取って活動を行えるか、その都度職員間で話し合い、知恵を出し合って可能な限り広い活動スペースを確保して行けるよう取組んでまいります。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 12 | 1 | 0 | 0 | ・個別で手厚くやっていただいていると思います(1名)。ありがとうございます。・子どもの様子を良く見ていただけてありがたく思っています(3名) | 私たち職員へ、励みとなりますお言葉をいただき、ありがとうございます。今後も、お子さん、保護者様方へのニーズに沿い、療育という側面からの「ねがい」に向かって、真摯に取り組んでまいります。 |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 12 | 1 | 0 | 0 | 出入口の段差がバリアフリーではないかと・・・。その他は、バリアフリーになっています(1名)。 | ご意見をいただき、ありがとうございます。出入口の段差につきまして、現段階では、出入りの時に職員がついてサポートを行う事で対応してまいります。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 12 | 1 | 0 | 0 | | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 12 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 12 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。 | 11 | 2 | 0 | 0 | | 現在、幼稚園との交流を検討しております。来年度には、ご案内できる方向で準備を進めております。 |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 11 | 2 | 0 | 0 | | 2024年度ペアレントトレーニング 開催日 2025.1月18日(土)・1月20日(月) 2025.2月8日(土)・2月17日(月) |
| | 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |

| | | | | | | | | |
|----------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | 定期的に行われる面談の際に、いつも専門的かつ客観的なアドバイスをいただけるので大変有り難く思っています（5名）。 | 私たち職員へ、励みとなりますお言葉をいただき、ありがとうございます。今後も、取組内容の丁寧な説明とご相談内容に傾聴し、求められる返答が行えるよう、職員一同取組んでまいります。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 9 | 4 | 0 | 0 | | 今年度の保護者会を、2025年3月15日(土)開催予定で準備を進めております。 |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 12 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 12 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 11 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 11 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 11 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 13 | 0 | 0 | 0 | この事業所と繋がるのができなかったら、子どもとどう向き合ったらいいのかわかりにくくなってしまったと思う、子どものことを一番考えて支援をしてほしいので安心して任せられます（1名）。子どもが毎週きらりに行けることを楽しみにしています。保護者の悩みに寄り添っていただき、温かい支援と励ましに親子共々支えていただいております。いつもありがとうございます（1名）。 | 私たち職員へ、励みとなりますお言葉をいただき、ありがとうございます。「誰にだって輝ける舞台がある！」この、企業理念にもとづいて、わたくしたちは、お子さん、お母さん、お父さん、ご家族の皆さんの輝く笑顔と出会えるよう、これからも多くの事を学び、そして、それを活かしていけるよう実践してまいります。毎回、「きらり」を楽しみにしていただけるよう、取組んでまいります。 |

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | こどもサポート教室「きらり」長野駅前校 | | 公表日 | | 2025年 2月 15日 | |
|---------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | 0 | 運動課題を行うにあたり、もう少し広いスペースがあると良いと思いますが、現時点では、限られたスペースを工夫しております。 | 今後も、可能な限り広く運動スペースを確保できるように職員間で相談し合って取組んでまいります。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 7 | 0 | 1対1での個別支援を行っていることもあり、適切な職員体制を取れた上での支援を行っております。 | 基本人員配置はもちろんの事、専門性のある職員による支援提供も豊富に行っているよう取組んでまいります。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 7 | 0 | 入口に段差がありますが、悪天候時など、滑りやすい時期には、お気をつけいただくようお願いを行っております。 | 出入りの時には、職員がついてサポートをし、安全に出入りができるように努めてまいります。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 0 | 毎日の清掃業務や年に2回、大掃除を行い、清潔な環境で過ごせるよう心がけております。 | 使用した教材は毎度消毒を行い、清潔を保っております。消毒が完了したものは、所定の場所に直し整えております。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | 0 | 個室はありませんが、パーティションを使用してブースを区切り、個別のブースを利用いただけるようになっております。 | お子様の必要な配慮面を考慮して、予約人数を調整したり、ペアリングの工夫を行ったりして環境配慮を行ってまいります。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 7 | 0 | 改善が必要な点に関しては、PDCAサイクルに沿って、職員間で相談をしながら改善に努めております。 | PDCAを行うにあたり、職員それぞれが主体的に関わるような工夫を行ってまいります。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | 年に1度保護者様対象にアンケート調査を行っております。その結果を職員全体で共有し、ご指摘を頂いた点に関しては、早急に改善できるように対応しております。 | アンケートでいただいた点については、上長へも報告し、環境を整えていけるよう努めてまいります。また、 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | 業務改善が必要な際には、全体で話し合う以外に、上長と個別での面談を行い、意見を出しやすい環境を整備するよう努めております。 | 今後も、現場からの意見に傾聴し、お子さんの支援にしても、職員の働きやすさにしても相談し合える環境を大切にしております。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 0 | 7 | 現時点では、第三者による外部評価は行っておりません。 | 現在、第三者による外部評価については検討しております。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | 0 | 東京の発達支援研究所の定例研修に毎月ZOOMで参加しております。その他にも、法人内での研修があります。その他には、外部研修へも参加しております。 | 今後も、利用者様のニーズに沿った外部研修へも積極的に参加していける環境を用意していきます、支援の資質向上となるよう努めてまいります。 |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | 0 | 個別支援計画に基づき、適切に支援プログラムが作成されるよう努めております。公表につきましては、準備中です。 | 支援プログラムの公表につきましては、2024.3月までに公表できるよう準備を進めております。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 7 | 0 | 少なくとも半年に1度アセスメントを行い、その時のお子さんや保護者様のニーズや課題を明確にし、そこを分析したうえで個別支援計画の作成をしております。 | 丁寧に適切なアセスメントから、お子様に沿った個別支援計画の「ねらい」が見えてくるよう、今後も取り組んでまいります。 |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | 0 | 個別支援計画を作成する際にはまずは児童発達支援管理責任者と担当職員とでお子さんにとって今の最善の計画になるよう検討を行っております。その後、事業所内で会議を行い全職員が共通理解して支援にあたるよう努めております。 | 今後も、お子様や現場職員からの「声」を大切に、児発管としてお子様の成長や特性を把握した上で、適切な個別支援計画となるよう、必要な学びや話し合いの場を大切にした上で作成していけるよう取組んでまいります。 |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | 0 | 毎月、事業所内支援者会議を行い、個別支援計画についての会議日を設け、全職員で共有しております。 | 定期会議以外にも、必要に応じたミーティングを大切に、細やかな対応となれるよう取組んでまいります。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | 0 | お子さんの状況を把握するために、フォーマル・インフォーマルなアセスメント両方を使い、より細やかにお子さんの姿を把握するよう努めております。 | より細やかなアセスメントを行う為に、多角的な視点をもてるよう努めてまいります。日々の行動観察も含めて、お子さんの姿を捉えていけるよう努めてまいります。 |

| | | | | | | |
|--------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 適切な支援の提供 | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | 0 | 左記の狙いや支援内容を踏まえ、お子さんの支援に活かしております。個別支援計画の内容も、具体的な支援内容を設定し、作成するよう努めております。 | 今後も、移行支援や地域支援では、関係機関との連携を密に行えるよう、支援者会議での情報交換や書面での情報提供（保護者様の承諾を得て）を行ってまいります。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | 0 | 活動プログラムについては、支援に当たる職員同士で情報共有を行い、プログラムの立案を行うようにしております。 | 今後も、事前ミーティングを丁寧に行い、職員間で「ねらい」を確認し、支援方法の確認等々を行うようにしております。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | 0 | 毎回のプログラムが固定化しないよう、支援に当たる際には前回の活動記録を確認する等しながら支援プログラムを考えております。 | 今後も、活動記録の確認と合わせて、次の支援リーダーとなる職員への伝達をしっかりと行うことで、活動に広がりをもっていけるよう取り組んでまいります。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | 0 | お一人おひとりのお子さんの状況を鑑み、個別・集団活動を組み合わせる個別支援計画の作成を行っております。 | 今後も、お子さんの状況を鑑み、個別・集団活動を組み合わせる個別支援計画の作成を行ってまいります。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | 0 | 支援前の朝礼の際に連絡事項と本日の支援についての確認を毎日行っております。 | 今後も、支援前には、連絡事項と本日の支援についての確認を丁寧に行ってまいります。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7 | 0 | 夕礼時に、その日のお子さんの様子について情報共有を行う機会を設けるようにしております。 | これまででも、夕礼以外にも、担当者同士での振り返りを行ってきました。今後も継続してまいります。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | 0 | 支援後には、支援を行ったお子様の支援記録を入力し、次の支援の担当指導員に情報共有が出来るようにしております。 | 今後も、支援に入る前の段階で前回の支援では、どんな様子で、何に取り組んだかを職員同士で確認し、次の支援に繋げています。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 0 | 6か月に1回のモニタリングを行っております。又、必要に応じて個別支援計画の見直しを行ってきました。 | 今後も利用者様の発達やニーズに対応し、期限内でも必要がある時には、個別支援計画の見直しを行ってまいります。 |
| | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | 0 | 職員間でそのお子さんの様子等について共有を行った上で、児童発達支援管理責任者または担当職員が参加しております。 | 今後もお子さんの状況をよく理解した者が会議に参加していくよう努めてまいります。 |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | 0 | 日頃から、学校や幼稚園・保育園、医療機関等と支援者会議や情報共有を行うことで、お子さんや保護者様が必要としている支援について共有・検討をする機会を設けております。 | 今後も、継続して各機関から共有していただいた情報については、職員間でも情報伝達を行い、支援に取り入れていけるよう、行っております。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | 0 | 事業所内のみでの支援に終わる事なく、次への集団への支援を丁寧に行っております。連携会議や訪問を通して、支援方法の共有も行いました。 | 今後も、関係機関との連携を深めていき、次の発達段階の社会生活に向けた支援を行っていきけるよう努めてまいります。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | | | 関係機関等で丁寧に情報共有を行うことで、相互理解が深まるよう移行支援者会議に参加しております。 | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 7 | 0 | 長野圏域療育コーディネーター様に来所いただき、支援を見学いただきアドバイスをいただきました。 | いただいたアドバイスを、事業所内でどのように支援に取り入れていけるか検討し、保護者様へ説明を行い、了承をいただき支援に活かしてまいります。 |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 0 | 7 | 地域のこどもとの交流に関しては、現在検討中。 | 市内幼稚園との交流計画を進めている段階になります。 |
| 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | 0 | 最近の事業所での様子や、家庭・学校での様子を支援後のフィードバックの時間や、相談支援の時間に共有を行っております。 | 今後も、ご希望が出た時や必要な時に、お子様の状況を踏まえ、それに合わせた支援内容や対応について相談支援を行ってまいります。 | |

| | | | | | | |
|----------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 7 | 0 | 今年度は、2024年1月～3月に開催予定。今年度、職員3名がペアトレ研修に参加いたしました。 | 左記の研修を活かして、保護者様向けペアレントトレーニングを開催予定です。 |
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | 0 | 契約時や変更が起きた時に、「利用者負担」等について説明を行っております。 | 今後も必要な場面において、「利用者負担」等について説明を行ってまいります。 |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 0 | 個別支援計画の新規作成・更新の際には保護者様とお話をする機会を設け、保護者様とお子さんに意向をお伺いをする時間を設けております。 | 今後も、意向を踏まえ、個別支援計画の作成を行ってまいります。 |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 7 | 0 | 個別支援計画を提示しながら丁寧に計画内容について説明を行っております。 | 説明を行う時には、保護者様に支援の目標や具体的な活動内容が伝わりやすいように具体的な説明を心掛けております。 |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | 0 | 保護者様から子育て等の相談があった時には、相談支援として面談の機会を設けてきました。 | 今後も必要に応じて、相談を受ける機会を持ち、必要な助言や支援を行ってまいります。 |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 7 | 0 | ママカフェを開催してきました。小さなグループでのママカフェ開催を行ってきました。 | 今後は、それ以外でのグループ形態での開催も検討していき、保護者様間での交流サポートとなるよう取り組んでまいります。 |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 0 | お子様や保護者様からお話があった時には、丁寧に話を伺う機会を設け、迅速に対応してきました。 | 今後も、お子様や保護者様からお話があった時には、丁寧に話を伺う機会を設け、迅速に対応してまいります。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 0 | 長野駅前校専用のInstagramや、ブログを定期的に更新し、活動の様子等を発信してきました。 | 今後も、長野駅前校専用のInstagramや、ブログを定期的に更新し、活動の様子等を発信してまいります。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | 0 | 個人情報の記載された書類等は鍵付きの書庫に保管し、個人情報の取り扱いに十分留意してきました。 | 今後も、個人情報の記載された書類等は鍵付きの書庫に保管し、個人情報の取り扱いに十分留意してまいります。 |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | 0 | お子さんや保護者様に伝わりやすい方法として、文字や絵・イラスト等を使って視覚的に伝える工夫をしております。 | 保護者様には、ビジネスLINEを通してコミュニケーションをとるなど、一人ひとりに応じた配慮を行ってまいります。 |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。 | 0 | 7 | 現時点では、地域の方々との交流がもてておりません。 | 地域住民参加型のイベントを検討し、実施していけるよう取り組んでまいります。 |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | 0 | 各種のマニュアルがあります。職員間で、マニュアルを共有しております。 | 今後も、マニュアルをもとにして、毎月防災訓練等を行い、有事の際にすみやかに対応していけるよう努めてまいります。 |
| | 46 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | 0 | 業務継続計画(BCP)を策定しております。それをもとに、非常時伝達訓練等も保護者様参加型で実施してきました。 | 今後も、業務継続計画(BCP)をもとに、非常時伝達訓練等も保護者様参加型で実施してまいります。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 7 | 0 | 保護者様より、事前に服薬についてや健康状態について情報共有を行っていただいております。 | 今後も丁寧な服薬や受診等の情報共有を行い、安全に努めてまいります。 |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 0 | 7 | 事業所内で食事を行う機会がない為、医師の指示書まではいただくことがありません。 | 対象の保護者様にはアレルギー状況を確認し、万が一の事態とならないよう取り組んでおり、今後も継続いたします。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | 0 | 非常時に必要な避難の方法を確認するとともに、毎月安全点検を行うことで、お子さんが使用するブースや教具に危険性がないかどうかを確認しています。 | 今後も定期的な遊具や教室環境の完全確認を行い、安全な環境の中で支援を行えるよう努めてまいります。 |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | 0 | 安全計画を作成し、非常時にどのように行動するかを毎月確認の為に訓練を行っております。 | 非常事態での対応方法確認の為に訓練を行っております。訓練内容等を、教室内に掲示したり、教室のビジネスラインで発信したりしてまいります。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | 0 | ヒヤリハットが起こった際には、資料を作成し職員全体に共有しております。また、どのような改善策を行っていくか話し合い、全体周知してきました。 | 今後も、改善策が決まったら、それを書面での回覧だけでなく、朝礼や夕礼の時間に周知し再発防止に努めてまいります。 |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | 0 | 全職員が虐待防止研修に参加しております。 | 今後も、全職員が虐待防止研修に参加していけるよう体制を整えてまいります。 |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 7 | 0 | 身体拘束が必要となる場合には(現時点では対象者がおりません)職員間で話し合い、職員全体に共有いたします。その際は、個別支援計画にも記載いたします。 | 契約時に、やむを得ず身体拘束を行う場合の説明を行っており、まずは、そうならない為の支援に取組んでまいります。 | |